

十和田湖の構造

「カルデラ」という言葉はスペイン語で「調理鍋」を表す「cauldron」に由来します。広く平たい底部とそれを取り囲む切り立った周縁部の形が、鍋に似ているからです。十和田湖が貴重な理由は、カルデラとしては珍しく水で満たされているからだけでなく、二重カルデラだからです。主要部分の浅い盆地（外輪カルデラ）と深い盆地（内輪カルデラ）が組み合わさってできています。約 4 千年前に誕生した御門石と呼ばれる寄生火山は、その頂が湖面から顔を出しています。

湖底の地形

湖水盆地の主要部分は水深約 100 メートルで、最も深い中湖カルデラ中心部では約 327 メートルです。湖に切り立つ谷は、激しい水流が湖底を繰り返し侵食した結果生まれたものです。